

# 川おか 栄一



NEW KOMEITO  
**公明党**  
大阪府政報告

## 大阪の成長戦略実現へ!!



新しい時代はすぐそこに  
H25・3/25 小型電気自動車に乗って

H24 年度は、商工労働委員会副委員長として大阪の経済発展の為、全力で取り組んでまいりました。特に今委員会では、大阪の成長戦略について質問をしました。

1. ips 関連産業の創出
2. 医薬基盤研究所と連携し創薬支援サポートを
3. 医療機器産業への中小企業参入
4. PMDA(医薬品医療機器総合機構)を大阪・関西に
5. BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)の早期実用化
6. 超小型 EV(電気自動車)の産業振興
7. 大型蓄電池分野への取り組みについて
8. ワイヤレス給電への支援
9. FCV(燃料電池自動車)への中小企業参入
10. 農業分野への企業連携
11. バイオや蓄電池の海外展開
12. 西成での商店街支援



松井知事へは、上記から  
特に 3 点質問しました。



2. 創薬支援への大阪府のかかわり方
4. PMDA-WEST 機能の整備
5. BNCT(がん治療)の早期実用化



遠隔操作により、尻無川水門が閉まりました。



## 三大水門閉まる!! 3・11の教訓を胸に

本年3月11日、三大水門(安治・尻無・木津川)の遠隔操作ができるようになりました。2年前の東日本大震災を受けて、津波対策の見直しが必要となりました。

川岡は、平成23年当時、災害対策調査特別委員会副委員長として、津波を想定していない三大水門をまず津波時に閉鎖するよう前橋下知事に進言しました。昨年(平成24年)9月には、三大水門がボタンを押すだけで閉鎖する自動化が完了し今回、西区の西大阪治水事務所からの、遠隔操作ができるようになりました。

今後は、地震による断線も考えられますので、無線による整備も進めてまいります。大阪の安全・安心に今後も取り組んでまいります。

# 大阪府議会だより

発行元: 公明党大阪府議会議員団



〒540-8570 大阪市中央区大手前 2 丁目 1 番 22 号 TEL: 06-6941-0286 FAX: 06-6942-4060

## 防災・減災対策を前進 がん治療の先端施設を誘致 公明党大阪府議会議員団の主な実績 2月定例会より



2月21日から3月22日まで開かれた平成25年2月定例会で、公明党大阪府議会議員団は25年度予算案をはじめ、府政の諸課題に対し府民の立場から議論を進めました。また、2月26日には清水義人議員（幹事長・大阪市東住吉区選出）が代表質問に立ち、防災・減災対策やがん対策などについて府の取り組みを問いただしました。

公明党府議団が提案し、25年度予算に盛り込まれた主な実績は以下の通りです。

### 1 3大水門の遠隔操作化が完成

大地震による津波被害から沿岸部を守るべく、大阪府が管理する安治川、尻無川、木津川にある「3大水門」を遠隔操作で閉鎖できるように改良しました。その他港湾や漁港にある水門も25年度中に遠隔操作できるようにします。



### 2 ため池の防災点検を加速

府が指定する「水防ため池」のうち、被災時の影響が大きい100か所について耐震性調査・診断を国の緊急経済対策を活用して加速、26年度末までに完了する見込みです。

### 4 発達障がい児者への支援を拡充

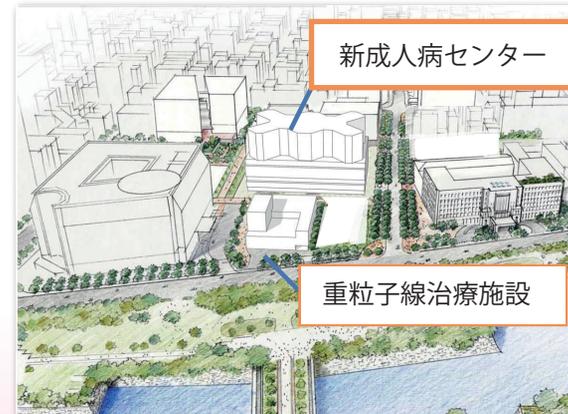
成長段階に応じ、切れ目のない支援をするために乳幼児健診の充実や、幼小中21校園を実践研究校に指定して学識経験者を派遣するほか、NPOや企業と連携した実務研修を進めます。

### 3 私立学校の耐震化を後押し



公立学校に比べ耐震化の遅れている私立学校向けに、25年度から27年度までの間、府が耐震診断や耐震改修、耐震改築の費用を援助する制度を新設、3年間で計18億円を補助します。

### 5 大手前に粒子線がん治療施設



大阪市中央区大手前に移転する府立成人病センターの隣接地に粒子線がん治療施設を誘致します。25年度は民間事業者の募集・選定や、必要な人材の育成・確保策を検討します。

